

水難学会情報 16-1

水難学会に所属する専門家とその分野について

平成 28 年 7 月 23 日

一般社団法人水難学会では、水難事故発生時の取材などに迅速に対応するため、専門家を配置しています。報道機関において、水難を理解するための、より正確な情報が必要な場合にご活用ください。なお、次のどの専門家もういてまで（着衣泳、着衣水泳）の解説について対応できます。

- ★水難一般、水難救助理論、国内・国際状況
斎藤秀俊 水難学会会長 （長岡技術科学大学 教授）
- ★サバイバル教育、船員養成課程における海難理論
田村祐司 水難学会理事・副会長 （東京海洋大学 准教授、東京での撮影に対応）
- ★水難一般、救急救命士養成課程における水難理論
鈴木哲司 水難学会理事・副会長 （帝京平成大学 准教授、東京での撮影に対応）
- ★水難救助実務、水難現場実務
木村隆彦 水難学会理事・事務局長 （赤穂市消防本部 救急救命士）
- ★海難一般、海浜における水難現場実務、津波からの生還実務
安倍 淳 水難学会理事 （朝日海洋開発 社長）

なお、実技解説については、統括指導員・マイスター指導員が担当する場合があります。統括指導員・マイスター指導員は、大分県、広島県、兵庫県、岐阜県、埼玉県、群馬県、東京都、新潟県、宮城県に配置しています。

報道機関からの取材のお申し込み先について

平日 9 時から 5 時までの連絡先

水難学会事務局 0258-47-9316、メール jimu@uitemate.jp（◎をアットマークにかえる）

休日・夜間(深夜)

対応電話 090-6344-2352（発信者番号通知をしてください）

メール hts@nagaokaut.ac.jp（◎をアットマークにかえる）

一般社団法人 水難学会

新潟県長岡市上富岡町1603-1 長岡技術科学大学内 <http://wr.umin.jp/>